



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺澤 和宏 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,434	△5.1	213	△13.8	212	△13.8	195	12.1
2019年3月期第2四半期	5,724	△1.4	247	6.7	246	11.1	174	13.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 204百万円 (18.0%) 2019年3月期第2四半期 173百万円 (11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	312.14	—
2019年3月期第2四半期	278.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	4,670	2,151	46.1	3,439.94
2019年3月期	5,270	1,966	37.3	3,143.36

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,151百万円 2019年3月期 1,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	△8.7	250	△10.9	250	△10.3	150	△19.0	239.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	727,500株	2019年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	101,909株	2019年3月期	101,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	625,591株	2019年3月期2Q	625,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いておりますが、海外では中国の景気減速、米中通商問題の動向、英国の欧州連合離脱問題、日韓関係の悪化の影響など、未だに先行き不透明感が強まっております。また、個人消費の拡大に対する期待感はあるものの、実質所得の伸び悩みと節約志向の継続から個人消費に力強さを欠き、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは「新たな価値創造へのチャレンジ」を年度スローガンとし、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,434百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は213百万円（前年同四半期比13.8%減）、経常利益は212百万円（前年同四半期比13.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は195百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を活かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりました。この結果、売上高は3,659百万円（前年同四半期比3.5%増）となり、営業利益は288百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新規出店による売上増加が見られましたが、契約期間満了に伴う一部店舗の退店の影響もあり、売上高は618百万円（前年同四半期比10.7%減）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の減少により15百万円（前年同四半期比79.1%増）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりました。この結果、売上高は124百万円（前年同四半期比8.8%増）となりましたが、営業利益は製造原価の増加により43百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、既存店において各種イベントの企画・情報発信・実施と共に、接客・サービスのレベルアップ及びリピーターの増加に努めてまいりましたが、本年7月における長野県外5施設の事業譲渡による店舗数減少により、売上高は401百万円（前年同四半期比49.2%減）となり、営業損失は74百万円（前年同四半期は11百万円の営業利益）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は53百万円（前年同四半期比0.5%増）となり、営業利益は一般管理費の減少により25百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、ライトアウトドア分野の充実を図り、女性客・ビギナーキャンパーの新規取り込みに努め購買意欲を喚起すると同時に、ユーザーに合わせた各種情報の収集とSNS等による情報発信を積極的に行ってまいりました。また、各種展示会における受注が好調に伸び、この結果売上高は355百万円（前年同四半期比7.6%増）となり、営業利益は38百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、長野県内におけるギフト店、飲食店、和洋菓子直売店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。この結果売上高は221百万円（前年同四半期比6.4%増）となりましたが、営業利益は8月下旬に新潟県妙高市の道の駅あらい内に開店した「そばどころ 式枚目」の出店経費が影響し3百万円（前年同四半期比73.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円(16.0%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が231百万円、現金及び預金が39百万円、商品及び製品が23百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ880百万円(25.0%)減少いたしました。これは主に投資その他の資産が460百万円、有形固定資産が377百万円、無形固定資産が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ599百万円(11.4%)減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ433百万円(23.8%)減少いたしました。これは主に短期借入金が397百万円、流動負債その他が50百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円(23.8%)減少いたしました。これは主に資産除去債務が259百万円、長期借入金が208百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ785百万円(23.8%)減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円(9.4%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益195百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%(前連結会計年度末は37.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日開示の2019年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	336,029	375,913
受取手形及び売掛金	761,582	993,399
商品及び製品	533,457	556,663
原材料及び貯蔵品	64,862	82,191
その他	60,043	27,550
貸倒引当金	△1,625	△1,104
流動資産合計	1,754,349	2,034,612
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	869,584	696,413
土地	1,100,669	910,551
その他(純額)	200,910	186,246
有形固定資産合計	2,171,165	1,793,211
無形固定資産	206,246	164,045
投資その他の資産		
敷金及び保証金	658,052	254,190
その他	489,787	433,460
貸倒引当金	△9,547	△9,447
投資その他の資産合計	1,138,291	678,203
固定資産合計	3,515,703	2,635,460
資産合計	5,270,052	4,670,073
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	429,470	415,889
短期借入金	974,421	576,500
未払法人税等	16,520	45,379
賞与引当金	55,681	53,668
返品調整引当金	2,944	3,842
ポイント引当金	13,514	14,158
その他	330,114	280,082
流動負債合計	1,822,666	1,389,520
固定負債		
長期借入金	1,058,014	849,748
役員退職慰労引当金	16,862	19,462
資産除去債務	354,980	95,653
その他	51,070	163,693
固定負債合計	1,480,927	1,128,558
負債合計	3,303,594	2,518,078

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	467,317	643,820
自己株式	△200,363	△200,363
株主資本合計	1,975,273	2,151,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,814	219
その他の包括利益累計額合計	△8,814	219
純資産合計	1,966,458	2,151,994
負債純資産合計	5,270,052	4,670,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,724,788	5,434,543
売上原価	4,254,335	4,047,522
売上総利益	1,470,452	1,387,021
販売費及び一般管理費	1,222,680	1,173,369
営業利益	247,772	213,651
営業外収益		
受取利息	2,472	1,208
受取配当金	328	329
受取事務手数料	967	892
その他	3,869	3,025
営業外収益合計	7,637	5,455
営業外費用		
支払利息	8,454	6,278
その他	440	450
営業外費用合計	8,895	6,728
経常利益	246,515	212,379
特別利益		
固定資産売却益	175	—
資産除去債務戻入益	6,736	—
受取補償金	653	—
事業譲渡益	—	94,290
特別利益合計	7,565	94,290
特別損失		
固定資産売却損	—	18,536
固定資産除却損	—	433
投資有価証券評価損	—	13,595
特別損失合計	—	32,564
税金等調整前四半期純利益	254,080	274,104
法人税、住民税及び事業税	40,733	41,652
法人税等調整額	39,153	37,181
法人税等合計	79,887	78,834
四半期純利益	174,192	195,270
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,192	195,270

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	174,192	195,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,004	9,033
その他の包括利益合計	△1,004	9,033
四半期包括利益	173,187	204,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,187	204,303
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	254,080	274,104
減価償却費	79,427	69,451
固定資産売却損益(△は益)	△175	18,536
事業譲渡損益(△は益)	—	△94,290
有形固定資産除却損	—	433
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13,595
貸倒引当金の増減額(△は減少)	333	△620
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,210	△2,012
返品調整引当金の増減額(△は減少)	988	898
ポイント引当金の増減額(△は減少)	475	643
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△56,854	2,600
受取利息及び受取配当金	△2,800	△1,537
支払利息	8,454	6,278
売上債権の増減額(△は増加)	△362,185	△231,816
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65,160	△43,649
営業保証金の増減額(△は増加)	4,703	△430
仕入債務の増減額(△は減少)	52,468	△13,581
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,048	24,897
前受金の増減額(△は減少)	△118	59
その他の資産の増減額(△は増加)	18,941	23,801
その他の負債の増減額(△は減少)	△46,954	39,176
その他	2,817	1,378
小計	△98,300	87,915
利息及び配当金の受取額	△3,131	330
利息の支払額	△9,080	△6,195
特別退職金の支払額	△25,554	—
法人税等の支払額	△28,459	△11,020
法人税等の還付額	637	4,009
補償金の受取額	653	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△163,236	75,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	33,000	—
有形固定資産の取得による支出	△164,786	△99,695
有形固定資産の売却による収入	30,200	3,500
無形固定資産の取得による支出	△33,294	△6,637
敷金及び保証金の差入による支出	△115	—
敷金及び保証金の回収による収入	36,711	22,142
事業譲渡による収入	—	670,189
その他	△10	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,295	589,509

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,960,000	7,570,000
短期借入金の返済による支出	△4,790,000	△7,860,000
長期借入れによる収入	445,988	988
長期借入金の返済による支出	△296,397	△317,175
社債の償還による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△14,374	△18,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	205,216	△624,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△56,315	39,884
現金及び現金同等物の期首残高	384,294	336,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	327,978	375,913

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事 業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,534,190	693,044	114,369	791,642	53,143	330,363	5,516,753	208,034	5,724,788	—	5,724,788
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	78,045	—	202,916	20	11,972	—	292,954	202,095	495,050	△495,050	—
計	3,612,236	693,044	317,285	791,662	65,115	330,363	5,809,708	410,130	6,219,838	△495,050	5,724,788
セグメント 利益	259,545	8,634	49,165	11,841	22,446	30,682	382,315	12,136	394,451	△146,679	247,772

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事 業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,659,230	618,580	124,489	401,946	53,410	355,603	5,213,260	221,282	5,434,543	—	5,434,543
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	41,180	—	207,545	—	12,000	—	260,726	180,534	441,261	△441,261	—
計	3,700,410	618,580	332,035	401,946	65,411	355,603	5,473,987	401,817	5,875,805	△441,261	5,434,543
セグメント 利益又は損失 (△)	288,434	15,463	43,040	△74,902	25,713	38,706	336,456	3,222	339,678	△126,027	213,651

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。